

偏微分方程式姫路研究集会のお知らせ

例年冬に行っております「偏微分方程式仙台研究集会」を今年度は姫路におきまして下記の日程、会場にて行います。多数の方々の参加をお待ちしております。

記

日時: 2007年2月22日(木) 13:15 ~ 2月24日(土) 11:45

会場: イーグレ姫路4階セミナー室B

会場へのアクセス: JR姫路駅より北へ徒歩10分、姫路城手前

<http://www1.winknet.ne.jp/~egret-himeji/f1/chizu1.htm>

プログラム

2月22日(木)

13:15 – 14:15 磯崎 洋 (筑波大学)

Modified Radon transform for asymptotically Euclidean metric

14:30 – 15:30 中野 史彦 (高知大学)

ランダムシュレーディンガー作用素の固有関数の分布について

15:45 – 16:45 島倉 紀夫

\mathbb{R}^2 から \mathbb{R}^4 への等長はめこみ写像について

2月23日(金)

9:30 – 10:30 上村 豊 (東京海洋大学)

エネルギー依存逆散乱理論とその応用

10:45 – 11:45 Igor Trooshin (Institute of Russian Academy of Science)

On inverse scattering on graphs

13:15 – 14:15 榎田 登美男 (兵庫県立大学)

On the zero modes and the zero resonances of Dirac operators

14:30 – 15:30 加藤 圭一 (東京理科大学)

Benjamin-Ono 方程式の解の存在について

15:45 – 16:45 小野寺 栄治 (東北大学)

Closed curves governed by a third-order dispersive flows into Kaehler manifolds

2月24日 (土)

9:30 – 10:30 眞崎 聡 (京都大学)

Asymptotic expansion of the solution to the nonlinear Schrödinger equation with power nonlinearity

10:45 – 11:45 白井 慎一 (大阪工業大学)

Decay of stationary solutions to a semilinear Schrödinger equation with magnetic field

懇親会を2月23日(金)の晩に予定しております。

この研究集会は以下の科学研究費の援助を受けております。

基盤研究(B) 「離散群の作用する無限グラフのスペクトル解析とグロモフ・ハウスドルフ収束」(研究代表者:小谷元子(東北大学))

基盤研究(C) 「相対論的シュレディンガー作用素の一般固有関数と擬微分作用素論に関連する諸問題」(研究代表者:榎田登美男)

基盤研究(C) 「シュレディンガー方程式の準古典解析」(研究代表者:藤家雪朗)

世話人: 岩崎千里 榎田登美男 藤家雪朗 保城寿彦(兵庫県立大学)
渡部拓也(東北大学)

連絡先: 〒671-2201 兵庫県姫路市書写6721 兵庫県立大学書写キャンパス
電話 0792-67-4934(藤家雪朗)
E-mail fujiie@sci.u-hyogo.ac.jp